

鹽竈十番

しおがまさま

第 200 号

表参道を渡御する鹽竈神社御神輿（花まつり）

花まつり

四月二十七日(日)

帆手祭と共に江戸時代から続く氏子祭である花まつり。本年は四月二十七日に斎行されます。

花まつりは、早魃などにより不作に苦しんだ氏子たちが鹽竈大神に祈願し、安永五年・同六年に御神輿の渡御を執り行ったところ作柄が回復したため、安永七年(一七七八)から鹽竈様への報恩の心をこめて毎年執り行うようになったのがはじまりとされます。

安永七年以降、正月二十八日に「御神輿洗神事」、三月十日に「御神輿祭」として鹽竈神社の大神輿が町内を渡御してきましたが、明治四十三年に祭日が新暦の三月十日と四月二十五日に改められ、名称もそれぞれ帆手祭・花まつりとされました。現在、花まつりは四月の第四日曜日に斎行されています。

氏子たちを中心として継承されてきた氏子祭は、人と人を結びつける大切な役割を担ってきました。鹽竈ザクラが咲き誇るなか、勇壮な大神輿の渡御をご覧ください。

しおがまさま 神々の花灯り

4月12日(土)、午後6時より境内のライトアップのほか、雅楽の演奏など各種催しが実施されます。幻想的な夜の鹽竈さまをお楽しみください。



第19回 鹽竈神社観桜茶会

5月3日(土)、午前10時より境内にて茶道各流派合同の観桜茶会が開催されます。お問い合わせは事務局まで。
事務局・瀧井園 塩竈市北浜1-2-6 電話:022-362-3614

第七十七回 奉献乾海苔品評会

去る一月十一日、当社を会場に第七十七回奉献乾海苔品評会が開催されました。

今期は、記録的な猛暑による高水温の影響をうけましたが、漁場環境の回復とともに高品質の乾海苔が生産されるに至りました。

県内各地より九十一名の乾海苔が出品され、一月六日に開催された厳正な審査の結果、優賞（宮城県知事賞）に

赤間竹晴殿、準優賞（塩竈市長賞）に鹿野拓洋殿、ほか五十八名が入賞を果たされました。

品評会当日は奉献感謝祭が斎行され、祭典後に受賞者へ表彰状・記念品が贈呈されました。また、出品された乾海苔は祭務所に展示されました。

受賞者（敬称略）

優賞（宮城県知事賞）

代ヶ崎浜地区 赤間 竹晴

準優賞（塩竈市長賞）

鳴瀬支所 鹿野 拓洋

吉等賞（東松島市長賞他）

鳴瀬支所 手代木 浩二

鳴瀬支所 手代木 千年

松ヶ浜・湊浜地区 大町 昭

菖蒲田浜地区 伊丹 幸一

代ヶ崎浜地区 石森 圭太

要害地区 佐藤 正美

式等賞

（全国漁業協同組合連合会長賞他）

鳴瀬支所 熊谷 義宏

仙南支所（亘理） 菊地 幹彦

仙南支所（亘理） 津田 雅彦

仙南支所（亘理） 穴戸 敏浩

仙南支所（亘理） 菊地 裕丈

技術賞

（東北海苔問屋協同組合理事長賞他）

矢本支所 津田 大
矢本支所 櫻井 健太
代ヶ崎浜地区 齋藤 吉勝

宮戸西部支所 小野 裕俊

矢本支所 相澤 太

宮戸支所 門馬 雅則

代ヶ崎浜地区 相澤 幸典

東宮浜地区 瀬戸 博之

参等賞（アイサン工業株賞他）

塩釜地区支所 内海 健靖

宮戸西部支所 小野 仙一

仙南支所（亘理） 木村 宏

矢本支所 三浦 義孝

矢本支所 三浦 一郎

矢本支所 三浦 正洋

矢本支所 阿部 雄美

吉田浜地区 伊藤 浩康

代ヶ崎浜地区 相澤 良弘

代ヶ崎浜地区 榎 比寿

仙台支所 秋葉 吉夫

代ヶ崎浜地区 津軽 圭一

東宮浜地区 我妻 貞俊

東宮浜地区 大石 篤史

四等賞（株サンエイ海苔賞他）

塩釜地区支所 有千葉水産

宮戸西部支所 尾形 秀一

宮戸西部支所 小野 成一

石巻湾支所 近藤 正昭

矢本支所 及川 輝明
宮戸支所 門馬 隆
松ヶ浜・湊浜地区 星 博

吉田浜地区 佐藤 弘

代ヶ崎浜地区 相澤 栄喜

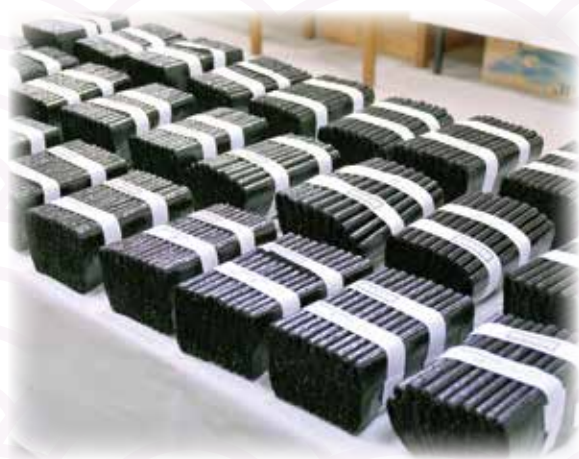
塩釜地区支所 内海 修一

産業功労賞 ほか十五名

松ヶ浜・湊浜地区 星 陽子

ほか六名

なお、このうち優賞・準優賞の乾海苔は、受賞者の手により宮内庁を通じて、天皇后両陛下及び各宮家へ献上されました。



節分祭 追儺式



二月一日と二日の両日、一年の厄災
消除・家内安全を祈願する節分祭追儺
式が斎行されました。年男・年女等に
よる豆撒きは、別宮と左右宮の拝殿及
び両拝殿の間に設けた特設舞台より行
われ、福豆を拾いに大勢の参拝者が訪
れました。

節分祭の斎行にあたり、多くの方々
より御協力を賜りました。御来賓・奉
仕者代表、御協賛を賜りました皆様を
御紹介します。(敬称略)

◆御来賓

- 一日 塩釜警察署長 高嶋 文智
- 二日 伊達家十八代当主 伊達 泰宗
- 塩竈市長 佐藤 光樹
- 塩釜警察署副署長 斉藤 康晴

◆年男・年女代表

- 一日 志野 真司・菅野 彩佳
- 二日 櫻井 悟・徳永希和子

◆福景品協賛者(順不同)

㈱菅原園茶舗・福寿司・ライフ&ファッ
ションたかはし・郷家第三歯科医院・
漢方の塩釜芍薬堂・小松館好風亭・稲
庭うどん瀧さわ家・㈱ビーシック・救

心製菓(㈱)仙台営業所・クラシエ薬品(株)
ダイワ生物研究所・日本クリニック(株)
仙台営業所・ムサシノ製菓(株)・㈱バイ
タルネット・㈱柳川商店・フランス料
理レストランシェヌー・㈱白寿殿・
㈱白寿殿大友義雄・松和産業(株)・塩釜
地方卸売市場・㈱ごんきや・(有)今野商
店・(有)たかせさとし美容室・プリンス
食品(株)・セブンイレブン多賀城大代五
丁目店・㈱エンドーグループ・仙台水
族館開発(株)・星のり店・㈱澁谷商店・
フルセック ロッシユ・春日屋商店・
写真屋さん21・(有)松野・水野水産(株)・
コカ・コーラボトラーズジャパン(株)・
勝山水産(株)・㈱佐々勤商店・㈱松島蒲
鉾本舗・合同会社顔晴れ塩竈・菓匠榮
太楼・㈱東日本ソルト仙台営業所・東
陽防災設備(株)・塩釜ガス(株)・シヨップ
サトー・佐藤良明・㈱北浜フード・(株)
八百大・キクニ(株)・すし哲・矢部園・
㈱石井商店・㈱柴崎屋・㈱塩釜マルサ・
マルミ東商店・進藤正毅・えびすや釣
具店・㈱阿部善商店・丹六園・(株)ヨ
クベニマル塩釜店・大黒寿司・(有)増友
商店・蜂屋食品(株)・㈱丸勝会館・阿部
勘酒造(株)・㈱佐浦・和食の小島・(株)鈴
忠・武田の笹かまぼこ・いな長・(株)で

ん六仙台支店・仙台味噌醬油(株)・(株)小
西美術工藝社・㈱松田製粉・日本住宅
(株)・マルマ佐々木水産(株)・(株)一ノ蔵・
㈱阿部電工

鹽竈ザクラの日

鹽竈ザクラは古くから著名な
品種で、境内の二十七本が国の
天然記念物に指定されています。
淡紅色の大輪の花は、五〇枚程
の花弁を有し、中心に雌しべが
変化した小さな葉がみられるの
が特徴で、鹽竈神社の御社紋と
もなっています。

当社では、五月十日を「鹽竈
ザクラの日」とし、桜の無事生
育を祈る祈願祭を斎行いたして
おります。



奉納御礼

■高額奉納

塩竈市

板橋

富美子殿

■刀 銘(表) 応需松坂氏于時
昭和十四年六月(裏) 奥洲仙 台
住三浦権平国光之造六十五 才、
一口

仙台市

須藤

和枝 殿



銅板奉納者芳名

令和六年

十二月 埼玉県

青木 成伸
他 一 二 一名

令和七年

一月 新潟県

加藤 信一
他 二 〇 一名

二月 栃木県

猪瀬 朝子
他 九 九 名

(敬称略)

全国一之宮神社「祈りの書」奉納



二月十九日、書道家 信貴聖玉(しぎせいぎよく)氏による「祈りの書」の奉納揮毫がなされました。

同氏は、四歳から書道を始めて二十歳から指導に携わり、国内外の展覧会等で活躍されるとともに現在は筆文字ロゴデザインや大筆パフォーマンス等の活動を展開されております。令和三年三月から、全国の一之宮を中心にして六十一社を参拝し、世の安寧を祈って

「祈りの書」を揮毫奉納されています。当社では「東北鎮護」を揮毫いただきました。

当日は、あわせて荒谷流武道東京支部長・師範である古川広幸氏と助手の星多賀子氏による演武が奉納されました。古川氏は、警視庁・陸上自衛隊などで武道の講師を務められており、信貴氏と同じく世の平和を願ってこの度の奉納となりました。



防災訓練実施

去る一月三十一日、当社自衛消防隊、塩釜地区消防事務組合本部、塩竈消防団、氏子青年会自衛消防隊等、各関係団体が参加して消防訓練が実施されました。参加者は初期消火・避難誘導・宝物搬出・放水訓練等に取り組みました。

また、国の重要文化財である鹽竈神社の別宮・左右宮の本殿周囲には、国と市からの防災設備整備事業の補助金を受けて、令和四年から約二年半の歳月をかけて消火設備を新設。この度の消防訓練にあわせて稼働となりました。



祭事案内

四月から六月

毎月

一日 朔日祭

曲木神社月次祭

六日 御釜神社月次祭

十日 鹽竈神社月次祭

二十九日

志波彦神社月次祭

四月

二十七日

鹽竈神社花まつり

二十九日

昭和祭

五月

十日 鹽竈ザクラの日祈願祭

六月

三十日

夏越大祓式

参拝記録

令和六年

十二月

十二日 吉備津神社職員研修旅行

十七日 川越八幡宮氏子青年会

十四名

五名

令和七年

一月

十日 塩釜ロータリークラブ

十六日 当社責任役員総代会合同会

十九日 衆議院議員 安住淳殿

二十六日 竹駒神社宮司 村田守広殿

七名

文芸欄

余寒なほ二百二段に再拜す

菅原

和子

うかれ猫妻のとばかり受けにけり

佐藤

光江

春雪の宮へとならし運転す

佐藤

悦子

風筋をはかりて野火を放ちけり

齋藤

豊子

書きなぐる重量の文字大鮎

池田

智恵子

キムチ漬終へたる夜の地酒かな

鈴木

ゆう子

注連張りて落ちぬ大石山笑ふ

今田

須美子

定まらぬ鴉の飛行春嵐

上田

由美子

杜氏衆の裸参りや一の宮

今野

紀美子

うぐひすや二百二段の幅の碧

及川

源作

糸巻

またなおか

社報「鹽竈さま」二〇〇号発行

社報「鹽竈さま」は、今号で二〇〇

号を迎えることとなりました。

当社では、戦前に機関紙「かみぞの」

を発行しておりましたが、戦後は紙不

足などから止むを得ず発行を断念しな

ければなりませんでした。鹽竈さまの

動向を「お山」からの便りとして氏子

たちに伝えようと、河合繁樹宮司のも

と社報「鹽竈さま」第一号が発行され

たのは昭和二十七年九月のことです。

しばらくは不定期での発行でしたが、

昭和五十年代から年四回の発行が定着

しました。

ご結婚おめでとう

ごぞいいます

令和七年二月

宮城郡

宮城郡

千葉県

埼玉県

石田 瑛基

村上 華蓮

北本 侑作

瀬口菜々子

(敬称略)

人事異動

退職

三月十五日付

権禰宜

藤澤 瑞朗

三月三十日付

巫女

及川 華夢

”

千葉 琴羽

社報「鹽竈さま」第二〇〇号

発行日 令和七年四月一日

発行所 志波彦神社 社務所

千九八五―八五一〇

宮城県塩竈市一森山一番一号

電話(〇二二)三六七―一六一(代)

http://www.shiogamajinja.jp/